

セクターハイライト 半導体

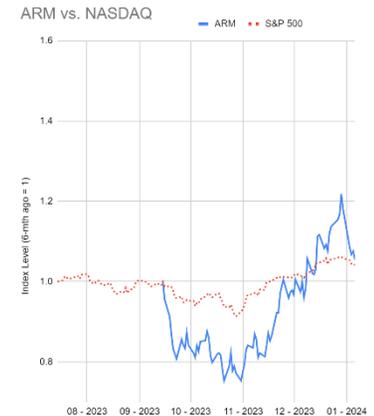
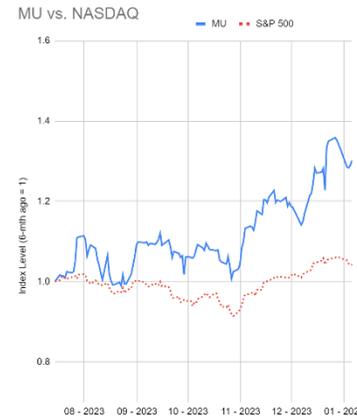
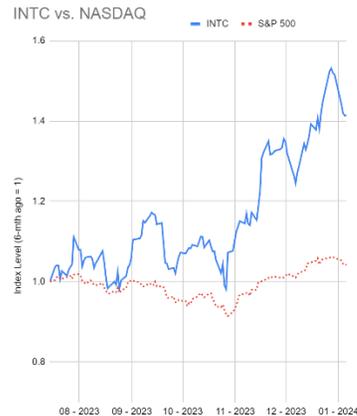
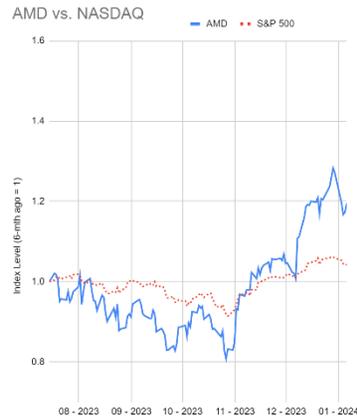
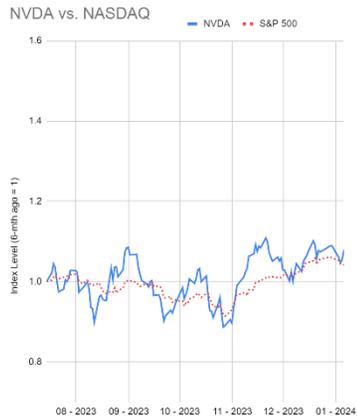
2024年1月9日

- Gartner社、2024年の世界半導体売上高は昨年の5,340億ドルから6,240億ドルに、16.8%成長すると予測している。
- AIによって高性能GPU需要は高水準を維持。センサー付き電気自動車、電力網の更新、IoTなどが牽引しよう。
- UBSは、AI産業の市場規模は売上ベースで2027年に4,200億米ドルとなり、従来の3,000億米ドルから増加すると予想している。
- 一方、現在の地政学的な不確実性や経済状況は、同分野の成長を妨げる可能性がある。

世界半導体売上 2021-25 (10億米ドル)



Source: Gartner



Source: TradeScience, Google Finance

あかつき証券株式会社
審査番号:【A2023009】

当資料の記載事項は過去の時点・実績における数値であり、将来の投資成果および市況環境を示唆あるいは保証するものではありません。また記載された数値等は作成日時点の情報に基づくものであり、今後の投資環境の変化等により、予告なく変更される場合があります。

Code	Name	時価総額 (US\$)	直近株価 (US\$)	180日変 化率	Historical PER	配当 (US\$)	次回決算 予定日	最近のニュース
NVDA	NVIDIA Corporation	\$1,313 B	\$531.4	17%	70 X	0.2	2/20/2024	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニュース報道によると、昨年、NVDA は AI GPU 市場を独占した (推定市場シェア 90%)。 ・ 業界によると、NVDA の H100 チップは AMD のものよりも性能が良い。 ・ 2024 年第 2 四半期に新チップ H200 を発表する予定。
AMD	Advanced Micro Devices, Inc.	\$241 B	\$149.3	29%	1,177 X	-	1/29/2024	<ul style="list-style-type: none"> ・ CEO は、2024 年に新しい AI アクセラレータチップ「MI300」(2023 年 6 月発売) の「少なくとも 20 億ドルの売上高」を見込んでいる。 ・ 2024 年の CES で AI に特化したデスクトップ用チップ「Ryzen 8000G」シリーズを初披露。 ・ UBS は、在庫サイクルはピークに達しており、売上目標は達成可能であると考えている。
INTC	Intel Corporation	\$203 B	\$48.1	45%	-	0.7	1/25/2024	<ul style="list-style-type: none"> ・ インテル、AI 製品ポートフォリオで遅れをとる。 ・ 最近、投資先のひとつを売却: AI ソフトウェアの新興企業 Articul8 AI ・ インテルは 2024 年に AI 対応 PC を大々的に投入することを発表している。
MU	Micron Technology, Inc.	\$92 B	\$83.3	30%	-	0.5	3/26/2024	<ul style="list-style-type: none"> ・ DRAM とフラッシュメモリのトップメーカーとして、アナリストは需要は引き続き旺盛であると予測している。 ・ 顧客在庫の正常化に伴い、チップメーカーの利益率は今年上昇するとアナリストは予測している。 ・ 2024 年下半年に先進的な HBM3E メモリーチップを発売する。
ARM	Arm Holdings plc (ADR)	\$74 B	\$71.9	13%	-	n.a.	2/7/2024	<ul style="list-style-type: none"> ・ 半導体業界の研究開発が増加すれば、ARM は半導体業界の「追い風」の恩恵を受けるだろう。 ・ ARM の x86 アーキテクチャは消費電力が少なく、データセンター (および EV) はエネルギー消費を最小限に抑える必要がある。 ・ CFO は、「第 4 四半期にはかなり大きなライセンス契約が控えているため、かなり大きな成長」を見込んでいる (前四半期は 0% ~ 10% の成長だった)。

* USA time

本資料は、あかつき証券（以下、「当社」という）がお客様に情報・サービスの提供をすることを目的としております。本資料における情報提供は当社が十分信頼できると判断した情報に基づいておりますが、その正確性、妥当性、および完全性について一切保証するものではありません。本情報に依拠したことにより損害が発生した場合であっても、その一切の損害について当社は責任を負うものではありません。また本資料はお客様に対して税金・法律・投資上のアドバイスを提供する目的で作成されたものではありません。お取引の決定や判断はお客様自身でなさるようお願い致します。

本資料は、当社の子会社である「トレード・サイエンス株式会社」により作成されています。

国内株式のリスク

リスク要因として株価変動リスクと発行者の信用リスクがあります。株価の下落や発行者の信用状況の悪化等により、投資元本を割り込み、損失を被ることがあります。

国内株式の手数料等諸費用について

- 国内株式の売買取引にてご負担いただく委託手数料は、約定代金に対して最大 1.265%（税込）、最低 2,750 円（税込）です。ただし、売却時に限り約定代金が 2,750 円未満の場合には売却代金の 11.0%（税込）です。
- 株式を募集等により購入する場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

外国株式のリスク

- 外国株式投資にあたっては、価格変動リスク、発行者の信用リスク、為替変動リスク、流動性（換金性等）リスク、国や地域の経済情勢等のカントリーリスクがあります。それぞれの状況悪化等により投資元本を割り込み、損失を被ることがあります。
- 各国の取引ルールの違いにより、取引開始前にご注文されても、始値で約定されない場合や、ご注文内容が当該証券の高値、安値の範囲であっても約定されない場合があります。
- 外国株式の銘柄（国内取引所上場銘柄および国内非上場公募銘柄等を除く）については、わが国の金融商品取引法に基づいた発行者開示は行われていません。

外国株式の手数料等諸費用について

- 国内取次手数料と現地でかかる手数料および諸費用の両方が必要となります。現地でかかる手数料および諸費用の額は金融商品取引所によって異なりますので、その額をあらかじめ記載することはできません。
- 国内取次手数料は、最大で 16.5%（約定代金 5 万円以下の場合）です。
- 国内店頭（仕切り）取引については、お客様の購入価格または売却価格を当社が提示します。当社が提示する価格には必要コスト（手数料相当額含む）が含まれているため、別途手数料はかかりません。
- 外貨建商品等の売買等にあたり、円貨と外貨を交換する際には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。

商品ごとに手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面および目論見書またはお客様向け資料等をよくお読みください。

商号等	:	あかつき証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 67 号
本店所在地	:	〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町 8 番 1 号 ヒューリック小舟町ビル 9 階
加入協会:		日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
連絡先	:	0120-753-960（カスタマーサポートセンター）